

第1章

調査研究の概要

I
調査研究
結果

I-1
調査研究
概要

I-2
アンケート
調査

A
事例

B
体制

I-3
ヒアリング
調査

I-4
調査研究
総括・提言

II
実践事例集

資
料

1 調査研究の目的

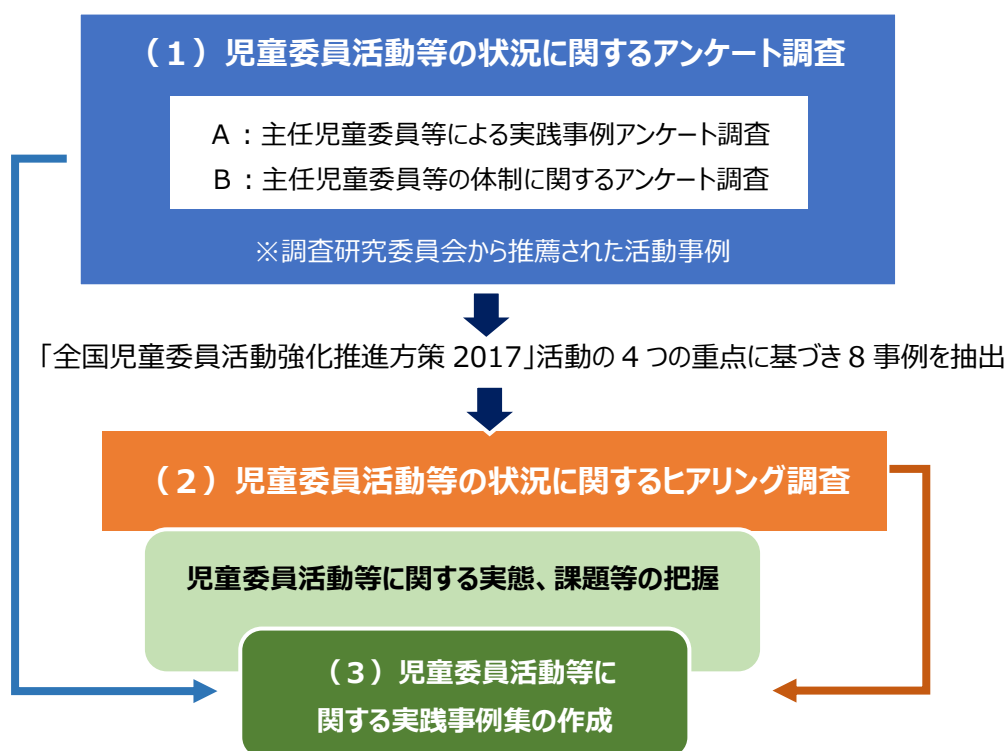
子どもや子育てをめぐる課題の多様化を受け、平成6年に主任児童委員制度が創設されてから25年が経過したが、少子化や核家族化はさらに加速し、育児不安や児童虐待、子どもの貧困など、子ども・子育てをめぐる課題は複雑化・多様化してきている。

平成31年に児童福祉法および児童虐待防止法が改正され、しつけと称した体罰の禁止や児童相談所の機能強化が図られた。また、市区町村は子ども・子育てをめぐる課題解決に向けて、子育て世代包括支援センターの設置や、要保護児童対策地域協議会の充実、子ども家庭総合支援拠点事業、地域共生社会の推進など施策が大きく変化している。それに伴い、民生委員・児童委員、主任児童委員に期待される役割も多様化し、今後、民生委員・児童委員、主任児童委員がその役割を果たしていくためには活動の充実・強化を図っていく必要がある。

本調査研究では、民生委員・児童委員、主任児童委員を取り巻く状況や活動上の課題を探り、先駆的な事例を把握し、その検証を行う。また、これらの取り組みをとおして、民生委員・児童委員、主任児童委員が地域での活動が行いやすい環境整備を図ることを目的に、実践事例集の作成や提言をまとめる。

2 調査研究の内容

【調査研究の内容と流れ】



調査研究として、以下の3つに取り組んだ。

- (1) 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査
- (2) 児童委員活動等の状況に関するヒアリング調査
- (3) 児童委員活動等に関する実践事例集の作成

(1) 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査

民生委員・児童委員、主任児童委員約500人（令和元年度「全国主任児童委員研修会」参加者）を対象に、以下AおよびBの2種のアンケート調査を実施した。

倫理的配慮として、本調査は、全国社会福祉協議会におけるプライバシーポリシーに基づき実施することとし、取り扱う事例については個人情報を含めないことを周知した。

【児童委員活動等の状況に関するアンケート調査 A・B】

	A ^{*1} ：主任児童委員等による 実践事例アンケート調査	B：主任児童委員等の体制に 関するアンケート調査	
調査対象	全国主任児童委員研修会の申込者	全国主任児童委員研修会の参加者 (研修会当日欠席者、行政関係者および民児協 ^{*2} 事務局に対しては未実施)	
調査期間	令和元年5月21日～7月12日	東日本	令和元年7月31日～ 8月1日
		西日本	令和元年8月7～8日
調査方法	・全国主任児童委員研修会開催案内に事前アンケート用紙を同封して配付 ・都道府県・指定都市民児協事務局を通じて回収	・研修会でアンケート用紙を配布 ・研修会終了時に会場にて回収 (一部、後日郵送にて回収)	
調査内容	・実践事例(1～2例)を記述 ・主な活動内容 ・役割 ・連携先 ・効果と課題 など	・児童福祉関係部会設置 ・定例会の開催 ・連携の状況 など	

※1：A アンケート調査票の表題は、「全国主任児童委員研修会分散会事前アンケート」であるが、本報告書では「主任児童委員等による実践事例アンケート調査」(以下、実践事例アンケート調査)と表記している。

※2：民生委員児童委員協議会は「民児協」に省略し表記している。

(2) 児童委員活動等の状況に関するヒアリング調査

(1) アンケート調査で収集した事例のなかから、全民児連[※]が策定した「全国児童委員活動強化推進方策 2017」(以下、児童委員方策 2017) 活動の 4 つの重点に基づき、単位民児協、市区町村民児協のバックアップがあり、かつ区域担当民生委員・児童委員と連携した活動の条件のもとに抽出した候補先、および調査研究委員会から推薦された事例のなかから全国 8 か所の活動事例を抽出した。

これら 8 か所の事例において、民生委員・児童委員、主任児童委員、単位民児協、市区町村民児協等に対し、取り組みの概要・効果、活動推進上の課題などについて聞き取りを行った。

※「全民児連」は、全国民生委員児童委員連合会を省略して表記している。

(3) 児童委員活動等に関する実践事例集の作成

(1) アンケート調査と (2) ヒアリング調査それぞれの取り組み結果をもとに、児童委員活動に関する実態や課題等をまとめ、民生委員・児童委員、主任児童委員活動の充実・強化や、関係機関、住民への周知を図るための実践事例集を作成した。

3 調査研究の体制と経過

調査研究委員会を設け、年 3 回程度委員会を開催し検討を行った。

調査研究委員会は、学識者 (2 名)、主任児童委員 (1 名)、施設関係者 (1 名)、全民児連児童委員活動推進部会 (3 名うち、1 名は主任児童委員) で構成する。

【調査研究委員会 委員】

敬称略 ◎ = 委員長

庄司 健治	全国民生委員児童委員連合会前副会長・児童委員活動推進部会前部会長 [仙台市]
池永 彰美	全国民生委員児童委員連合会副会長・児童委員活動推進部会前副部会長 [高知県]
市川 淳子	全国民生委員児童委員連合会 児童委員活動推進部会委員、主任児童委員 [岩手県]
小宮 謙治	東京都足立区主任児童委員 [東京都]
◎松原 康雄	明治学院大学学長
泉谷 朋子	東洋大学助教
廣瀬 みどり	社会福祉法人みおつくし福祉会リアン東さくら施設長

※所属・肩書きは令和 2 年 3 月 31 日現在

【検討の経過】

開催		主要な検討内容
準備委員会	日時：令和元年7月3日（水） 10時00分～12時00分 会場：全国社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査研究事業の検討内容および進め方について ● 調査研究委員会委員について ● 追加アンケート調査項目について
第1回委員会	日時：令和元年9月26日（木） 15時30分～17時10分 会場：全日通霞が関ビル7階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査研究事業の進め方について ● 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査結果について（中間） ● ヒアリング調査について
第2回委員会	日時：令和元年12月12日（木） 16時00分～18時00分 会場：商工会館8階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書の柱だてについて ● 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査結果について ● ヒアリング調査の実施状況ならびにまとめ方について ● 実践事例集のまとめ方について
作業委員会	日時：令和2年2月3日（月） 16時00分～18時00分 会場：TKP品川カンファレンスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 進捗状況の共有 ● 第3回調査研究委員会の進め方 ● その他
第3回委員会	日時：令和2年2月26日（水） 13時00分～15時30分 会場：商工会館8階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書（案）について ● 実践事例集について